

2017年6月号

6月15日(木)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 249



## いきもの集う釧路湿原…

釧路湿原はいきものたちであふれています。この時期を待ってましたとばかりに咲く花、羽化する昆虫たち。その一方で、早くも花を閉じてしまう植物もあれば、あえなく野鳥の餌食になる虫も。

いきものが集う釧路湿原。訪れる季節と去り行く季節。時系列で追う視点で見えてくる、「生命のバトンタッチ」がここにはあります。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



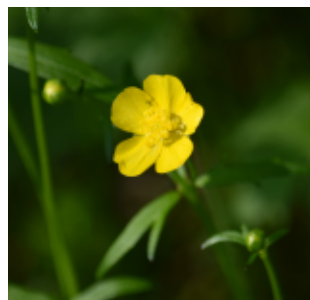
【ハナタネツケバナ】  
アブラナ科 花種漬花  
温根内木道でしかほぼ見られない、絶滅危惧ⅠB類の希少な植物です。ヨシ・スゲ湿原や、ハンノキ林の足元で咲いています。



【ヒメカイウ】  
サトイモ科 姫海芋  
ミズバショウと同じサトイモ科ですが、よく見ると違いに気づくと思います。白く見えるのは花ではなく、「仏炎苞」という苞です。



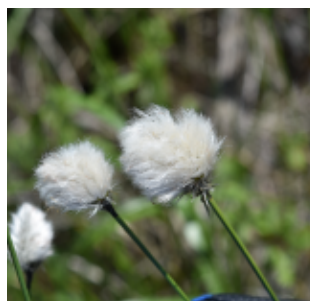
【マムシグサ】  
サトイモ科 蝮華  
こちらもサトイモ科。鶴居軌道跡で見られます。蝮のような縞々の偽茎(ぎげい)と頭の仏炎苞が特徴で、花はこの苞に隠れています。



【シコタンキンポウゲ】  
キンポウゲ科 色丹金鳳花  
光沢のある鮮やかな黄色の花弁が特徴です。鶴居軌道沿いで群落を作っているため探してみましよう。



【カラフトイソツツジ】  
ツツジ科 樺太磯躑躅  
名前に「イソ」とはついていますが、高山植物の一種で、釧路湿原のような冷涼な低地にも分布します。ミズゴケ湿原に咲いています。



【ワタスゲ(果穂)】  
カヤツリグサ科 綿菅  
今年は実なりがよいのか、ミズゴケ湿原はこのワタスゲで真っ白になりました。フワフワの綿毛は花ではなく、果穂と呼ばれる実です。

○表紙の写真 上:ワタスゲの果穂 中右:コンロンソウの花に集まる昆虫 中左:ペニマシコ 下:ヨツボシトンボ



## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

温根内にやってくる夏鳥たちは、ほぼ出そろいました。このところ、子育てを始めた野鳥もいるようで、巣材や餌をせっせと運ぶ姿も時折見かけるようになりました。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しております。

オス



メス

【アオジ】 夏鳥

ホオジロ科 青鷗

この時期最もよく見かける夏鳥です。機会があればオス・メスの違いにも着目してみましょう。木道の下から飛び出してくることも。



【カウラヒワ】 夏鳥

アトリ科 河原鶇

河原でよく見かけるとい意味でこの名が付きましたが、ここではハンノキ林で時折見られます。さえずりは「ジューン」など。



【コヨシキリ】 夏鳥

ヨシキリ科 小葦切

その名の通り、ヨシ原の枝などでよく見かけます。非常にせわしない声で鳴いているので、存在にはすぐ気づきます。



【ヒガラ】 留鳥

シジュウカラ科 日雀

温根内で見られる野鳥の中でも最小クラスです。「ツツピー、ツツピー…」と、優しい声でさえずっています。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（5月15日～6月14日）※和名は五十音順

■アカンカサスゲ■アキタブキ■イタヤカエデ■イヌコリヤナギ■ウスイロスゲ■エソエンゴサク■エソオオサクラソウ■エソカラマツ■エソカンソウ■エソタンポポ■エソニワトコ■エソネコノメソウ■エソノクサイチゴ■エソノコリンゴ■エソノタチツボスミレ■エソハリスゲ■エソヒゴクサ■エソヒメアマナ■エソカラマツ■エソカンソウ■エソヤマザクラ■エナシヒゴクサ■エンコウソウ■オオアマドコロ■オオイヌノフグリ■オオカサスゲ■オオツリバナ■オオバタネツケバナ■オオバナノエンレイソウ■オオヤマフスマ■オニグルミ■カキツバタ■カサスゲ■カブスゲ■カラコギカエデ■カラフトイソツツジ■キクムグラ■キジムシロ■キヌヤナギ■ギョウジャニンニク■クリイロスゲ■クロミノウグイスカグラ■コウボウ■コケイラン■コツマトリソウ■コンロンソウ■サギスゲ■サワシバ■シコタンキンポウゲ■シロツメクサ■シロバナエソノタチツボスミレ■スズメノカタビラ■スズメノヤリ■スズラン■セイヨウタンポポ■タガネソウ■タチヤナギ■チシマネコノメソウ■ツボスミレ■ツリバナ■ツルスゲ■ナガバツメクサ■ナガバヤナギ■ナズナ■ネコノメソウ■ネムロブシダマ■ハクサンスゲ■バッコヤナギ■ハナタネツケバナ■ハリスゲ■ヒゴクサ■ヒトフサニワゼキショウ■ヒメイチゲ■ヒメカイウ■ヒメシャクナゲ■フデリンドウ■ホロムイソグサ■ホロムイツツジ■マイヅルソウ■マムシグサ■ミズナラ■ミズバショウ■ミツガシワ■ミツバウツギ■ミツバツクリ■ミミナグサ■ミヤマザクラ■ムジナスゲ■ヤナギトラノオ■ヤチダモ■ヤチヤナギ■ヤマグワ■ヤラメスゲ■ユキザサ■レンブクソウ■ワタスゲ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（5月15日～6月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■キジバト■アオバト（5/29 初認）■オオヨシゴイ■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ（5/21 初認）■オオジシギ■トビ■オジロワシ■ノスリ■アリスイ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒバリ■ショウドウツバメ（6/12 初認）■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エソムシクイ■センダイムシクイ■ゴジュウカラ■マキノセンニュウ（6/7 初認）■エソセンニュウ（6/7 初認）■コヨシキリ（5/25 初認）■キバシリ■アカハラ■ノゴマ（5/18 初認）■コルリ（5/21 初認）■ノビタキ■コサメビタキ（5/21 初認）■キビタキ（5/18 初認）■オオルリ■ニュウナイスズメ■ピンズイ■カウラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。



☆☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆☆

○「早朝バードウォッチング」5月21日 参加者：18名  
 タンチョウコミュニティ代表の音成氏に講師をお願いし、恒例の早朝バードウォッチングを行いました。ちょうどこの日にやってきたと思われるコサメビタキや、鳴き声は聞こえても普段なかなか見ることができないオオルリなど、多くの野鳥を観察することができました。参加者の皆さんには、野鳥観察の面白さを存分に味わっていただけた様子でした。  
 ○「初夏の花を見に行こう」6月4日 参加者：23名  
 植物の専門家である高嶋氏に講師をお願いし、初夏の花々を観察する会を行いました。ヨシ・スゲ湿原ではこの時期ならではのミツガシワやハナタネツケバナを観察しました。また、見た目は地味でも種類の多いスゲ類についても、小穂の付き方などにバリエーションがあることを確認しました。生憎の寒空でしたが参加者は熱心に耳を傾けていました。

☆☆☆☆☆ イベントのご案内 (7月) ☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323 (7/2 イベントのみ)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 ♪夏の花を見に行こう	3	4 休館日	5	6	7	8
9	10	11 休館日	12	13	14	15 ♪PVスポットガイド
16	17 海の日	18 休館日	19	20	21	22 ♪ホテルの週末
23 ♪ホテルの週末	24	25 臨時開館	26	27	28	29
30	31					

♪夏の花を見に行こう:10:00～12:00 (定員15名、要申込み)    ♪ホテルの週末:19:30～21:00 (申込み不要)  
 ♪PVスポットガイド:9:00～13:00 釧路湿原のパークボランティア(PV)の方々が、木道上の見どころのあるスポットでガイドをしてくれます。(申込み不要)

○塘路湖エコミュージアムセンター (あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪縄文土器作り講座

〔日時〕7月8日(土) 10:00～14:00 〔定員〕15名 (小学生は保護者同伴)

〔参加費〕300円

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～釧路湿原の伏列開催中!～

釧路湿原が国立公園に指定されて今年で30年。温根内VCと塘路湖EMCに行ってクイズに答えると、国立公園指定30周年の記念品をプレゼント!



月刊 温根内通信 No.249

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00 (3月～11月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日 (12/29～1/3は休館) 入館無料